

【令和3年度 学生の海外派遣実績および成果】

2022年9月1日

No.	渡航先	派遣先大学	留学期間	参加人数	日数	科目名	目的	単位数	学習内容	その他の成果
1	アメリカ合衆国 オレゴン州 ポートランド	ポートランド州立大学 (PSU)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣プログラムは中止とした	0	0日	海外事情 (アメリカ編)	第一の目的は、英語だけの環境に身を置くことにより現時点での自己の英語力を認識し、今後の英語学習の方向性を見つけること。 第二の目的は、多様な文化的背景を持つご家庭にホームステイすることを通じ英語でコミュニケーションする能力を身につけ、海外旅行に慣れてもらうこととしている。	2	・ホームステイ ・英会話授業(中級) ・企業見学(2社) ・ポートランド文化研修(ストリートツアー等) ・シアトル文化研修(大リーグ観戦等) ・プロジェクト学習	・帰国後レポートの作成 ・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表 ・英語によるプレゼンテーション力の向上
2	中華人民共和国 江蘇省 南京市	南京大学	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣プログラムは中止とした	0	0日	海外事情 (中国編)	現地における実践的な中国語の習得及び研修旅行などを通して、学生各自が現代中国事情や中国文化に対する理解を深めて同時に彼らの異文化理解能力と国際的視野及び見識なども大いに養成させることを目的としている。	1	・中国語会話授業(中級) ・企業見学(1社) ・南京文化研修(夫子廟見学等) ・揚州文化研修(瘦西湖見学等) ・現地学生との交流 ・異文化体験(太極拳、餃子づくり体験等)	・帰国後レポートの作成 ・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表
3	中華人民共和国 遼寧省 大連市	大連東軟信息学院	2021/8/30 ~ 2020/9/11	0	12日	海外語学・文化研修 (中国大連編) ※オンライン留学	今年度も新型コロナウイルス感染拡大で実際に大連東軟信息学院へ派遣できないため、オンラインで中国語・中国文化研修に参加した。語学力の向上を目的とした中国語学習と中国文化の理解および現地学生との交流を図り、国際的な視野の養成を図ることを目的としたプログラム。	2	・中国語会話授業(初級) ・大連文化研修 (中国市場、TV番組、若者文化等) ・現地学生との交流	・オンライン留学後のレポート作成 ・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・修了証書授与
4	マレーシア クアラルンプール	UCSI大学	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣プログラムは中止とした	0	0日	-	本留学では、対面での英会話授業とマレーシア文化研修をとおして、参加学生が世界に興味を持ち、世界を視野に入れた幅広いものの見方を修得するきっかけをつかんでもらうことを目的としている。 留学後には、勉学、および学外活動に精力的に取り組む、その他の学生の模範となり、引っ張っていく存在となってほしい。 また、2年生・3年生へ進級後は、本プログラムの上位プログラムである「国際コラボレーション」参加を目指して努力してもらいたい。 在学中の海外経験を生かして、卒業後はグローバル人材として社会をリードする人材となってほしい。	-	・英会話授業(初級～中級) ・企業見学(1社) ・異文化体験(民族舞踊体験等) ・クアラルンプール文化研修 (イスラム寺院見学等)	・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表
5	タイ王国 パトゥムターニー県	ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校(RMUTT)	①(事前授業)2021/11/18 ~ 2022/2/4 ②(WS)2022/2/14 ~ 2022/2/17	14	①7日 ②4日	国際コラボレーション A/B ※オンライン留学	今年度も新型コロナウイルス感染拡大により、実際にタイ国への行き来(派遣・受入れ)ができないため、オンラインでワークショップを実施した。Webデザイン、ショートフィルム、コンピュータプログラミング制作技術を向上させるとともに、グローバルコミュニケーション力や相互の文化を理解し国際交流によって国際的な人間関係を構築する。	2	・タイ人学生と日本人学生の混成チームを編成し、 協働作品制作ワークショップ(3分野) -Webデザイン(WDC) -ショートフィルム(SFC) -コンピュータプログラミング(CPC)	・WEB、ショートフィルム、コンピュータプログラミングの各分野における作品の完成。 ・RMUTTと本学におけるWEB、ショートフィルム、コンピュータプログラミング作品の国際コンテストでの受賞 ・国籍・文化を超えた協調性の獲得、友人関係の構築 ・積極性の獲得 ・交流の輪を広げるために、手紙交換やお土産交換

【令和2年度 学生の海外派遣実績および成果】

2021年9月1日

No.	渡航先	派遣先大学	留学期間	参加人数	日数	科目名	目的	単位数	学習内容	その他の成果
1	アメリカ合衆国 オレゴン州 ポートランド	ポートランド州立大学 (PSU)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣プログラムは中止とした	0	0日	海外事情 (アメリカ編)	第一の目的は、英語だけの環境に身を置くことにより現時点での自己の英語力を認識し、今後の英語学習の方向性を見つけること。 第二の目的は、多様な文化的背景を持つご家庭にホームステイすることを通じ英語でコミュニケーションする能力を身につけ、海外旅行に慣れてもらうこととしている。	2	・ホームステイ ・英会話授業(中級) ・企業見学(2社) ・ポートランド文化研修(ストリートツアー等) ・シアトル文化研修(大リーグ観戦等) ・プロジェクト学習	・帰国後レポートの作成 ・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表 ・英語によるプレゼンテーション力の向上
2	中華人民共和国 江蘇省 南京市	南京大学	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣プログラムは中止とした	0	0日	海外事情 (中国編)	現地における実践的な中国語の習得及び研修旅行などを通して、学生各自が現代中国事情や中国文化に対する理解を深めてゆくと同時に、彼らの異文化理解能力と国際的視野及び見識なども大いに養成させることを目的としている。	1	・中国語会話授業(中級) ・企業見学(1社) ・南京文化研修(夫子廟見学等) ・揚州文化研修(瘦西湖見学等) ・現地学生との交流 ・異文化体験(太極拳、餃子づくり体験等)	・帰国後レポートの作成 ・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表
3	中華人民共和国 遼寧省 大連市	大連東軟信息学院	2020/8/17 ~ 2020/8/28 2020/8/31 ~ 2020/9/11	2(1) 1	12日 12日	海外語学・文化研修 (中国大連編) ※オンライン留学	今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、実際に大連東軟信息学院へ派遣することができないため、Zoomによるオンラインで中国語・中国文化研修に参加した。語学力の向上を目的とした中国語学習と中国文化の理解および現地学生との交流を図り、国際的な視野の養成を図ることを目的としたプログラム。	2	・中国語会話授業(初級) ・大連文化研修 (中国市場、TV番組、若者文化等) ・現地学生との交流	・オンライン留学後のレポート作成 ・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・修了証書授与
4	マレーシア クアラルンプール	UCSI大学	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣プログラムは中止とした	0	0日	-	本留学では、対面での英会話授業とマレーシア文化研修をとおして、参加学生が世界に興味を持ち、世界を視野に入れた幅広いもの見方を修得するきっかけをつかんでもらうことを目的としている。 留学後には、勉学、および学外活動に精力的に取り組む、その他の学生の模範となり、引っ張っていく存在となってほしい。 また、2年生・3年生へ進級後は、本プログラムの上位プログラムである「国際コラボレーション」参加を目指して努力してもらいたい。在学中の海外経験を生かして、卒業後はグローバル人材として社会をリードする人材となってほしい。	-	・英会話授業(初級～中級) ・企業見学(1社) ・異文化体験(民族舞踊体験等) ・クアラルンプール文化研修 (イスラム寺院見学等)	・海外に対してオープンな姿勢の獲得 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表
5	タイ王国 バトゥムターニー県	ラジャマンガラ工科大学 タンヤブリ校(RMUTT)	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、 派遣および受入れプログラムは中止とした	0	派遣:0日 受入:0日	国際コラボレーション A/B	本科目の目的は以下のとおり。 1.Webデザイン、ショートフィルムまたはコンピュータプログラミング制作技術を向上させる。 2.グローバルコミュニケーション力を向上させる。 (グローバルコミュニケーション言語は英語とする。) 3.相互の文化を理解する。 4.国際交流により国際的な人間関係を構築する。	2	・タイ、日本双方でのRMUTT学生との協働作品制作ワークショップ(3分野) -Webデザイン -ショートフィルム -コンピュータプログラミング ・企業見学(1社)	・WEB、ショートフィルム、コンピュータプログラミングの各分野における作品の完成。 ・RMUTTと本学におけるWEB、ショートフィルム、コンピュータプログラミング作品の国際コンテストでの受賞 ・国籍・文化を超えた協調性の獲得、友人関係の構築 ・積極性の獲得 ・帰国後報告会への出席と発表

※参加人数のうち( )内は、通信教育部正科生Bの人数